<特

YUHO NEWS!

2025**年** 9月号



拝啓、貴社益々ご隆盛の段、大慶に存じ上げます。

平素は格別のご支援・ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

友縫機械よりYUHOの最新情報をお届けいたします。

尚、縫製自動化を御検討、御相談の際には弊社ホームページにアクセス!

QR⊐-ド →



http://www.yuhomac.com へどうぞ!

【リニューアル新商品のご案内】

衿地縫い自動機(パターン形彫り装置付) リー4212-D のご紹介 長>

縫いパターンデータと押さえゲージのユーザー内製が可能!

多種多様な衿地縫いの縫いパターンデータを、本機のみで手軽に作成可能。 X-Y座標入力式(最大24ポイント)のパターンデータは半分の形状をポイント入力すれば、 あとはミラー複製機能で1枚分のデータ入力が完成します。

衿形状は衿先のR付や一般的な剣先形は勿論、台衿付きのワンピースカラーも問題なくご使用頂けます。 本自動機にて使用する押さえゲージは2mm厚のアクリル板を専用ガイドに2枚重ねてセットし、 入力された縫いパターンを利用して、左右2枚のエレメントを1度に自動で形彫を行います。

同形状・サイズ違いなら、サイズの入力のみで対応

形状違いには押さえゲージとセット定規をワンタッチで交換

同形状で衿サイズのみの違いであれば、縫いパターンと押さえゲージはそのままで、 液晶画面に全長を入力するだけであとは本機が素材セット用定規と押さえゲージを衿サイズに従って 自動で移動させ、瞬時に設定変更が完了します。(衿サイズは全長340~550mmの範囲をカバー。) 本機は形状違いの衿への作業変更時には、1)縫いパターンの選択、2)セット定規付け替え、3)押さえゲージ付け替えの3つが必要ですが、そのすべてがワンタッチで行え、設定変更時に 機械が停止するアイドルタイムを極小化できる親切設計です。

正確なシンメトリー形状、正確な首回り寸法

上の本機2つの機能で、初心者でも正確な形状でかつ完璧に左右対称な地縫いが行え、 また首回りの寸法も1枚1枚がムラなく同一の寸法に仕上がります。 これは単に品質の向上と均一化だけでなく、衿地縫いの後工程である衿ステッチ工程の自動化も 導入し易くなるというメリットもあります。

第二のテーブルがオーバーラップ・ワークフローのカギ

衿地縫い自動機の先代モデルからの最大の改良ポイントが作業テーブル面より一段高い位置に追加された 素材セット・サブテーブルです。

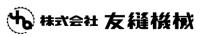
作業テーブル面より一段高い位置に、作業者から見て手元側に上下2枚の素材を重ねる作業を行うための 専用テーブルを追加し、バキューム付き素材セットエリアに素材を置く際はセット定規目がけて、 2枚を重ね終えた状態で素材を素早く置くことが出来るため、よりスムーズでミスのない作業を行えます。 また本機は衿地縫い用途に必要十分なタテ85mm×31550mmの縫製エリアを確保しています。

衿専用スタッカー装置の装備

縫い工程後、素材は落とし込み式のスタッカー装置により、きれいに揃えて自動積み重ねが行われます。 積み上がった素材が予め設定した枚数に到達すると、自動的にイジェクトされる機構により、 取り出しもラクラク行え、次の工程への搬送もスムーズです。

何卒、開発の趣旨をご理解賜りご販促の程お願いします。 縫いサンプル等も用意してありますのでご希望の場合はご用命ください。

掲載内容ならびにYUHOに対するご意見・ご要望などを、ご返信いただければ幸いです。 なお、商品の詳細につきましてはカタログもしくは弊社ウェブサイトをご参照ください。



代表取締役 高木 晶規

T 451-0053

名古屋市西区枇杷島5丁目3番1号 TEL (052) 522-6276 (代表) FAX (052) 531-9270 e-mail yuho@yuhomac.com URL http://www.yuhomac.com